## 補充問題 (2011/11/10)

「63」以下の 2 次正方行列の固有値と固有ベクトルを求めよ. また、対角化可能なものについては対角化せよ.

$$(1) \begin{pmatrix} 2 & -1 \\ -3 & 4 \end{pmatrix} \qquad (2) \begin{pmatrix} 0 & 2 \\ -3 & 5 \end{pmatrix} \qquad (3) \begin{pmatrix} 2 & -1 \\ 1 & 4 \end{pmatrix} \qquad (4) \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 5 & -3 \end{pmatrix} \qquad (5) \begin{pmatrix} 3 & -1 \\ 1 & 1 \end{pmatrix}$$

[64] 正方行列 A の対角成分の和を A のトレース (trace of A) といい,  $\operatorname{Tr} A$  もしくは  $\operatorname{Tr}(A)$  と表わす.  $A=\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$  の場合,  $\operatorname{Tr}(A)=a+d$  である. トレースに関して, 以下の問題に答えよ.

- (1) 2 次正方行列 A の固有方程式は  $\lambda^2-\mathrm{Tr}(A)\lambda+|A|=0$  であることを証明せよ. ただし, |A| は A の行列式である.
- (2) A, B が 2 次正方行列の時, Tr(A+B) = Tr(A) + Tr(B) が成り立つことを証明せよ.
- (3) A が 2 次正方行列で, c が定数の時, Tr(cA) = c Tr(A) が成り立つことを証明せよ.
- (4) A, B が 2 次正方行列の時, Tr(AB) = Tr(BA) が成り立つことを証明せよ.
- (5) A が 2 次正方行列で,P が 2 次正則行列の時, $\mathrm{Tr}(P^{-1}AP)=\mathrm{Tr}(A)$  が成り立つことを証明せよ.
- (6) 2 次正方行列 A の固有値が  $\alpha$ ,  $\beta$  の時,  $\mathrm{Tr}(A)=\alpha+\beta$  および  $|A|=\alpha\beta$  が成り立つことを証明せよ.

注意.  $\fbox{64}$  の (2) から (6) は、一般に n 次正方行列の場合に成り立つ.